

Smile

FREE MAGAZINE

2020 冬号

NO.026

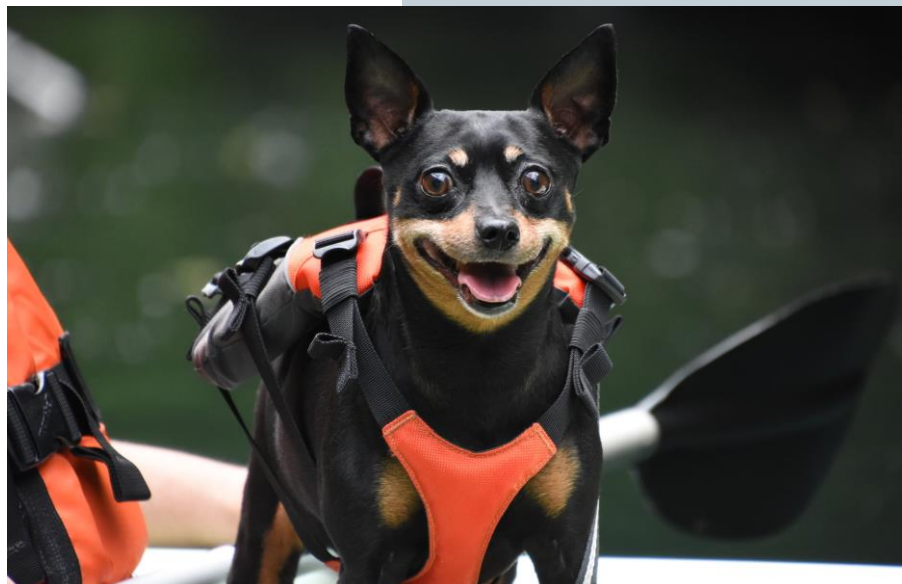
2021.1.1 発行



『がんを知ろう』

杏寿ちゃん、ことのちゃん、かめのちゃん

夏の思い出賞



ちびたくん



奇跡の一枚賞



ミミちゃん





りくくん

仮装大賞



こももちゃん

ユーモア賞



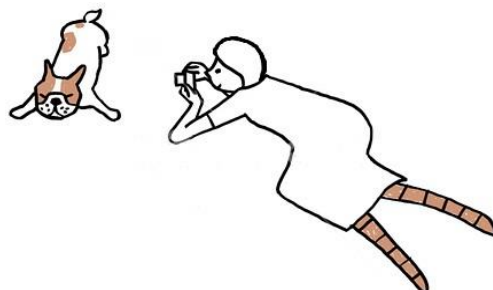
わんわんパラダイス写真展

★入賞写真掲載★

表紙 『ベストショット賞』 ～杏寿ちゃん、ことのちゃん、かめのちゃん～

2P 『夏の思い出賞』 ～ちびたくん～
『奇跡の一枚賞』 ～ミミちゃん～

3P 『仮装大賞』 ～りくくん～
『ユーモア賞』 ～こももちゃん～



[特集1]

がんの基礎知識 ...5

[特集2]

がん動物の看護...11

【wellness salon cocoe からのお知らせ】

・ペットの栄養

がんの子のごはん...21

・絆プロジェクト...27

・『駅構内看板用フォトコンテスト』募集要項 ...35



がんの基礎知識



がんってどんな病気？

近年、犬や猫の平均寿命は以前よりもずっと伸びており、それに伴いがんの罹患率も増加傾向にあります。

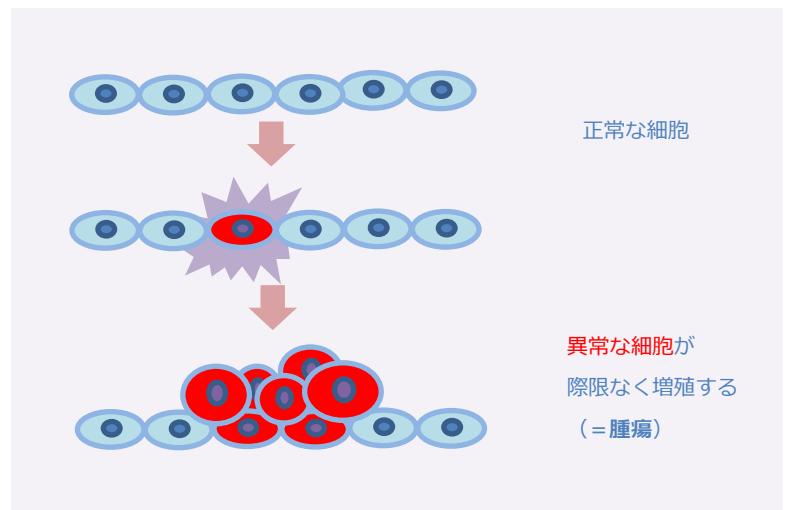
がんと聞くとどのような印象を持つでしょうか？

漠然と不安や絶望感を覚える方もいるかと思います。

がんについて知ること、お家のわんちゃんやねこちゃんのがん予防につながるだけではなく、がんの早期発見や、いざがんになってしまった際にその子にとって何が最善の選択肢になるのかを考える手助けになるかもしれません。

そもそも『がん』って何？

私たちの体を作る細胞は、普段規則正しく分裂し働いていますが、何らかの働きにより遺伝子が傷ついた細胞ができ、制限なく増殖できるようになってしまうことがあります。この増殖してしまった細胞を腫瘍と呼びます。腫瘍には良性と悪性があり、**良性**の場合は基本的に「～腫」、**悪性**の場合は一部を除いて「～癌（がん）」や「～肉腫（にくしゅ）」と呼びます（例外としてリンパ腫や肥満細胞腫などは、～腫という名前ですが悪性のものになります）。ただし便宜上、悪性腫瘍全体を『がん』と呼ぶことが多く、本特集でもがんは悪性腫瘍を指すものとして説明していきます。



がんは治ったと思ってもまた発生してしまう場合もあり、これをがんの「**再発**」といいます。

さらに「**転移**」という元々あった臓器とは別の臓器に移動し、そこでも腫瘍を作ってしまうこともあるため、発見や治療が難しい病気でもあります。その為、早期の段階でがんを見つけることがとても大切になります。

がんは体のどこにでも発生し、様々な症状や障害をもたらします。がんの発生場所に応じて現れる症状もあれば、なんとなく食欲や元気がなくなったという慢性症状を示す場合もあります。膀胱などの泌尿器系のがんの場合は血尿など、消化器系であれば吐きや下痢、呼吸器系であれば呼吸困難などの症状が認められます。

また、皮膚にできたがんはしこりとして発見されることが多いです。

★POINT★

- ▶ 「がん」とは、傷ついた細胞が異常に増殖を続けて体に害を及ぼす病気のこと
- ▶ 様々な臓器に発生し、それにより色々な症状を示す
- ▶ 「再発」や「転移」をすることがあるため、発見や治療が難しい

早期発見がとても大切！

がんの種類

皮膚のがん

顎や耳などの顔まわりや足先、乳頭の周辺、胴体、肛門周囲など**体のさまざまな部分に**しこりとして見つかります。一見皮膚病や虫刺されなどに見えることもあります。皮膚のがんには良性から悪性度の高いものまである為、**短期間に大きくなったり、出血を伴う場合や本人が気になる場合は早めの受診が望まれます**。ご自宅で犬猫に触っているときに異変に気付くことが多い為、**日ごろから気にかけて触ってあげることが早期の発見につながります**。

検査

しこりの部分に細い針を刺して細胞を取り、どんな細胞でできているかを確認します。場合によっては組織の生検が必要になることがあります。転移の確認のためにレントゲンや超音波検査を行うこともあります。

治療

良性であれば経過観察のこともあります。発生場所によっては手術で切除します。悪性の場合は腫瘍の種類によっては手術で切除しますが、取り切れない場所であったり悪性度が高い腫瘍の場合は加えて放射線や抗がん剤を用いることがあります。

消化器のがん

口から胃や腸を通る肛門までの器官を消化器と呼びます。口の中にがんが出来た場合は、**ご飯が食べにくくなる、よだれを垂らす、口元を気にする、口臭が増える**といったことが起こります。胃や腸などの消化管にできた場合は、うまく栄養が吸収できず**体重が減少したり、嘔吐や食欲不振、下痢、血便、黒色便**が見られることがあります。症状に対して治療を行っていても長期にわたってこれらの症状が続く場合や、何度も再発してしまう場合はがんの可能性も考えて検査していきます。

検査

細い針を刺して腫瘍細胞を確認します。消化管の場合は内視鏡を用いて組織の生検を行うこともあります。レントゲンや超音波検査、CTなどを用いて病変の場所や大きさ・転移がないかを確認します。

治療

手術で取り除けるがんは外科手術を行います。がんがきれいに取り除けていれば完治も見込めます。がんの種類によっては、手術後補助的に抗がん剤や放射線を用いることもあります。

肝臓・脾臓のがん

肝臓にがんが発生した場合、腹部の膨満がみられることがあります。周囲の臓器の圧迫により**食欲不振**や消化器症状がみられることもあります。初期の段階では症状を出しづらいため定期的な検診がとっても大切です。

脾臓の腫瘍は大きくなると破裂する危険性があり、破裂により**腹腔内出血**による**貧血、虚脱**を引き起こします。腹腔内出血によりおなかが膨れてみえる（**腹部膨満**）こともあります。

検査

超音波検査やレントゲン検査で腫瘍や腹水を確認します。CTを行い発生部位や周囲の臓器との関連を調べることもあります。がんが疑わしい場合は手術で腫瘍を取り除き確定診断します。

治療

手術での摘出が必要になりますが、肝臓や脾臓の周辺には血管が多いためリスクを伴います。また、術後に抗がん剤が必要になることもあります。がんの種類によっては転移や再発がないか、定期的に検査する必要があります。

生殖器のがん

乳頭周囲にある乳腺や、子宮、卵巣、精巣、前立腺などに発生します。乳腺の腫瘍はおなかを触ったときにしこりとして見つかります。犬の場合は約半数が良性、猫は約8割の場合が悪性と言われています。また、乳腺がんは初回、もしくは2回目の発情以前の避妊手術を実施することで発症率を下げられる為、**予防には早期の避妊が望まれます**。避妊を行うことで、子宮や卵巣のがんも防ぐことができます。また、雄の場合も同様に、**去勢を行うことで精巣のがんを予防できます**。

治療

これらのがんの治療の第一選択は手術で切除することです。乳腺腫瘍は犬で完全に切り切れば根治も見込めます。悪性度が高い場合や周囲のリンパ管に広がってしまっている場合は術後の経過観察をする必要があります。また、猫では術後の転移に注意する必要があります。

検査

乳腺のがんは、必要に応じて細い針を刺してがん細胞を確認します。さらに、転移がないかを確認するために、レントゲン検査や超音波検査を行います。

呼吸器・胸部のがん

鼻腔内にがんが発生した場合、**くしゃみ・鼻水・鼻づまり・鼻血**といった症状の他、進行すると**顔面の変形**を引き起こします。また、肺や胸腔内にがんが発生すると、物理的な圧迫や胸水貯留などにより**咳・呼吸困難**などが認められます。心臓に発生した場合は心嚢水が貯留し**虚脱や失神**といった危険な症状を引き起こし、緊急対応が必要になることがあります。肺のがんは特に進行するまで症状が出づらいこともあり、健康診断などで早期発見することが大切になります。

検査

鼻腔内のがんは、鼻の中から組織を採取して診断します。また、CTやMRIでどこまでがんが広がっているかを確認します。肺のがんはレントゲン検査やCT、心臓のがんはレントゲンや超音波検査で確認します。画像検査の他に細胞や組織の検査を行うこともあります。以上の検査で治療方針を定めていきます。

治療

鼻腔内のがんは放射線治療を第一選択として行うことが多いです。肺のがんは、早期の場合手術で完全に切除することで根治を見込めます。ただしがんの種類や広がり具合によっては抗がん剤を用いることもあります。心臓のがんの治療は困難とされていましたが、近年は手術や抗がん剤で治療可能な場合もあります。

血液のがん

血液のがんには、リンパ腫と白血病などがあります。リンパ腫は犬猫でとても多く認められ、**猫では猫白血病ウイルス(FeLV)が関与していることが多く報告されています**。初めは**元気がなくなったり、食欲不振や体重減少**などが起こります。体のどこにでも発生するため、その他にも**様々な症状**を示します。

白血病では、**リンパ節の腫れ、元気消失、食欲不振の他、貧血により粘膜色が薄く見える**ことがあります。また、免疫細胞が減少することで、感染症にかかりやすくなります。

治療

リンパ腫では抗がん剤が第一選択になることが多いです。抗がん剤がよく効き、がんを長くコントロールできることも多いですが、進行が早く抗がん剤が効かない場合もあります。特に急性の白血病の場合は治療をしない場合は数日から2〜3週間で死に至ることもあります。

検査

リンパ腫は腫大したリンパ節や、その他発生した組織から細胞を取り診断します。さらに血液検査やレントゲン検査、超音波検査で病気の進行度を調べます。白血病の場合は血液中にがん細胞が見られることもありますが、確定診断には骨髓検査を行います。

その他のがん

脳や筋肉や骨、神経にまでがんは発生します。腫瘍によって**麻痺**が起きたり、**痛み**や**違和感**が認められ**不自然な歩き方**をしたりします。脳に発生した場合は、その他にも**けいれん**や**性格の変化（怒りっぽくなるなど）**、**視力の低下**などが認められます。脳のがんはMRI検査を行い診断します。手術で取り除くことは難しいことも多く、抗がん剤や放射線治療が行われます。骨や筋肉に発生したがんは手術で切除し、場合によっては抗がん剤治療を行います。

検査・治療の方法

検査

・細胞診検査

採血に用いる細い針を刺して細胞を採取し、がんであれば種類を推定することができます。
麻酔は必要としませんが、発生場所やわんちゃん・ねこちゃんの性格によっては鎮静を必要とします。

・血液検査

がんによって臓器が障害された場合、血液検査に異常が認められることがあります。また、血液のがんの場合は進行度によっては血液中にがん細胞が認められることもあります。

・レントゲン検査、超音波検査

一般的に行われる検査で、麻酔を必要としません。がんの発生の有無や大きさを確認するために行われます。また、がんによって引き起こされる胸水や腹水の確認も行うことができます。

・CT、MRI

短時間の麻酔を必要としますが、レントゲン検査や超音波検査ではわからないような病変を調べることができます。
胸腔内や腹腔内はCT検査を用いますが、脳内のがんではMRIが多く用いられます。



治療

・手術

腫瘍の種類や発生場所、進行度合いによっては手術によって根治が可能です。また、がんやその転移のためにわんちゃんやねこちゃんが痛みや不快感を感じる場合があります。そのような場合にも、QOLの改善のために手術を行うことがあります。

・抗がん剤治療

注射や経口投与でお薬を投与します。がんの種類によって用いる抗がん剤の種類は異なります。
例として、リンパ腫であれば数種類のお薬を12～16週にわたって投与します。
副作用として嘔吐・下痢・食欲低下・白血球数の減少などが認められることがあります。

・放射線治療

最小限の副作用にするため、数週間かけて少量ずつ放射線を照射することもあれば悪性度高いものに対しては3-4週間かけて週3回照射することもあります。全身麻酔を必要としますが痛みはありません。放射線治療は行える施設が限られています。副作用は人に比べて少なく、治療後2～4週間で脱毛や日焼けのような跡が見られたり、軟便や排便困難が認められることがあります。口腔内や口周辺の場合は食欲低下が認められることもあります。

予防方法

がんには遺伝的な要因などもありますが、私たちが予防してあげられる要因もあります。

1 避妊・去勢

避妊や去勢を行うことで、ホルモンに関連したがんの発生を抑えることができます。

特に乳腺腫瘍では、未避妊犬の発生率を100%とすると初回発情前の避妊で0.05%、2回目の発情前の避妊で8%まで発症率を下げられるといわれている為、早期の避妊が勧められます。

また、子宮や卵巣、膣のがんやその他の疾患（子宮蓄膿症など）も防ぐことができます。

雄の場合は、去勢を行うことで精巣のがんや肛門周囲腺腫などの発生を予防することができます。

2 環境要因

犬猫においてもたばこの受動喫煙ががんの発症率を上げます。

短頭種のわんちゃんの場合は肺がんのリスクが、長頭種わんちゃんの場合は鼻がんのリスクがそれぞれ高まるとされており、ねこちゃんにおいてもリンパ腫や口腔内扁平上皮がんのリスクが高くなると報告されています。

また、**白色**など**色素の薄い猫**は、**日光**へ当たりすぎることで耳や鼻や目にがんが発生しやすくなると言われています。その他の要因として、**アスベスト**や**除草剤**などもがんの発生との関連が示唆されています。

3 ウイルス

猫白血病ウイルス（FeLV）、猫免疫不全ウイルス（FIV）はリンパ腫などのがんの発生に関与していると考えられています。これらのウイルスは、猫同士が舐めあったり、けんかによる咬傷により感染し、**効果的な治療法が存在しません。**

そのため、なによりも室内飼育を心がけることが大切です！



A light-colored dog, possibly a Weimaraner, is lying down on a wooden floor. Its head is resting on its front paws, and it has a sad or tired expression. To the right of the dog is an empty, shiny metal bowl. The scene is lit with warm, soft light.

がん動物の看護

～栄養管理～

がん動物の看護

～栄養管理～

がん（腫瘍）の治療は、腫瘍を取る外科手術や抗がん剤、放射線治療など、がんそのものに対する治療に目が向きがちですが、適切な栄養を摂取し体力・免疫力を維持して

「がんには負けない体作り」を同時に行うことが非常に重要です！

がんを患っている場合、慢性的な痛みや不快感、治療の副作用などさまざまな原因で食欲が落ちてしまうことがあります。

また、がんを発症すると炭水化物・タンパク質・脂肪などの栄養素の代謝が健康なときと変わるため、十分な栄養を摂っているように見えても痩せてきてしまいます。

そのため発症初期段階からしっかりとした栄養管理を行うことが大切です♪

今回は、食欲のないわんちゃん・ねこちゃんたちへの栄養管理についてご紹介します。

すぐに始められる方法が「強制給餌」です。

口の中にご飯が入れば飲み込んでくれる子が対象です☆

その子に応じた方法がいくつかあるのでご紹介します。

- ① フードを指で口に付けたり、上あごに塗ったりして舐めとってもらう。それほど多くのフードをあげることは難しいので、食べ始めるきっかけづくりとして行うことが多いです！



② 柔らかくしたフードを飲み込みやすい大きさに団子状に丸めて 口の中に入れてあげる (写真)

まとまった量のフードをあげる事が出来ます！



団子状に丸めて。
飲み込みやすい
大きさに！



ほら！お口に入るかな～？



パクっ!!

③ 強制給餌用のシリンジを使う。

流動食や柔らかくしたウェットフードをシリンジに詰めるもしくは吸い上げ、犬歯の後ろにシリンジを差し込み、少しずつ流し入れます。(写真)

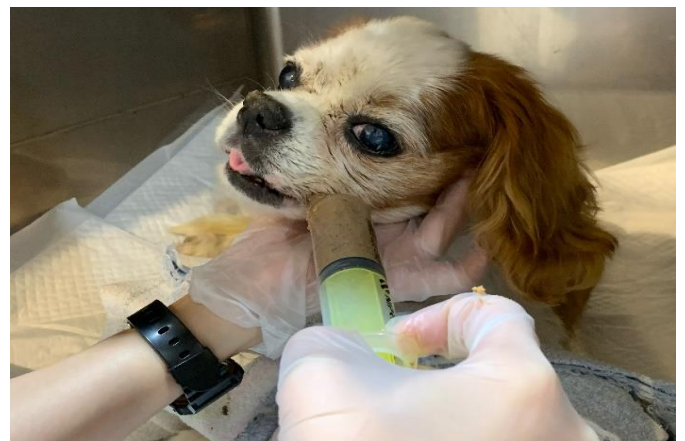


注射器のような形ですが、先が太くなっていてフードが詰まりにくくなっています。



Point

犬歯の後ろに
差し込みましょう



強制給餌は比較的手軽に出来ますが…

☆ 食べたくないときに強制的に食事を口に入れられることがストレスになってしまう可能性があります。

☆ 口の中で継続的にフードの匂いがすることが吐き気につながる場合があります。

給餌後は口の中に食事が残っていないか確認しましょう。

☆ フードが食道ではなく気管に入ってしまう誤嚥に十分注意する必要があります。

少量ずつ入れ、自身の力で飲み込んだことを確認しながら行いましょう。

全く食欲がない、飲み込む力がない、手術などで口が使えないわんちゃんねこちゃんには、通常は口から摂る食事を、鼻やお腹から入れたチューブを通して食事が直接消化管（食道や胃あるいは小腸）に届くようにする方法「経管（チューブ）栄養」があります。チューブ栄養には以下の3つの経路が主に使われます。



- ① **経鼻チューブ**：挿入は鼻の穴、チューブの先は食道または胃内（当院では食道まで）
- ② **頸（経食道）チューブ**：挿入は首の横、チューブ先は食道または胃内（当院では食道まで）
- ③ **胃瘻チューブ**：挿入はお腹の横、チューブの先は胃または小腸

【経鼻チューブ】

●使用するチューブ

外径：約1～2 mm



●メリット●

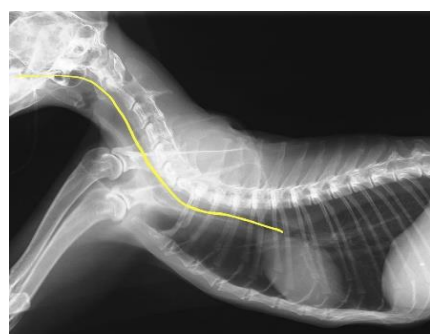
チューブを設置するための麻酔や鎮静が要らないので、わんちゃん・ねこちゃんへの負担が少なく容易に設置可能です。
さらに食べるようになればいつでも抜去できます。

○デメリット○

鼻からチューブを通すので、チューブが細いものでないと入らないので、ごはんは液状のもののみ少量頻回にあげる必要があります。異物性鼻炎や逆流性食道炎、誤嚥性肺炎のリスクがあります。

★適応フード

液状



▲レントゲンを撮ってチューブの位置を調整

ソケット

ここからフードを入れます



▲経鼻チューブの設置



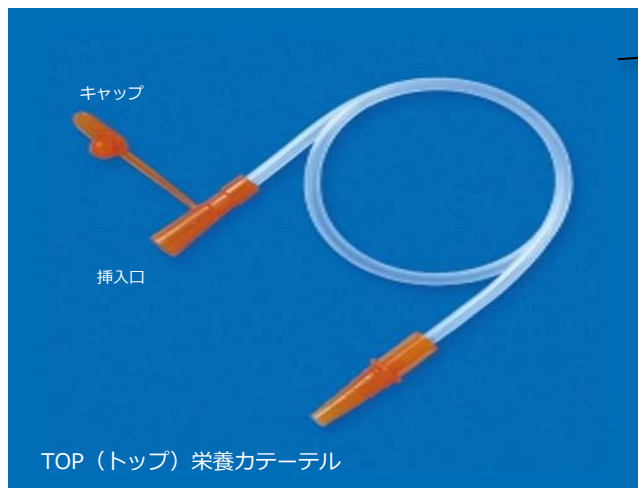
シリンジを使用して液状のご飯を入れていきます

▲経鼻チューブで給餌している様子

【 頸（経食道）チューブ 】

●使用するチューブ

外径：約3～5mm



●メリット●

経鼻チューブより太めのチューブを設置できるため、液状のフードだけでなく缶詰めをどろどろにした流動食もあげることが出来ます。

食べるようになればいつでも抜去できます。ただし、抜去後はチューブを入れていた穴を糸縫う必要があります。

○デメリット○

チューブの設置に鎮静あるいは全身麻酔が必要（胃瘻よりは短時間で設置が可能）です。チューブ挿入部周囲に炎症や感染がおきやすいので、管理が大切です。

★適応フード

液状～ペースト状



▲経鼻チューブの設置



▲頸にネットを被せてチューブを収納

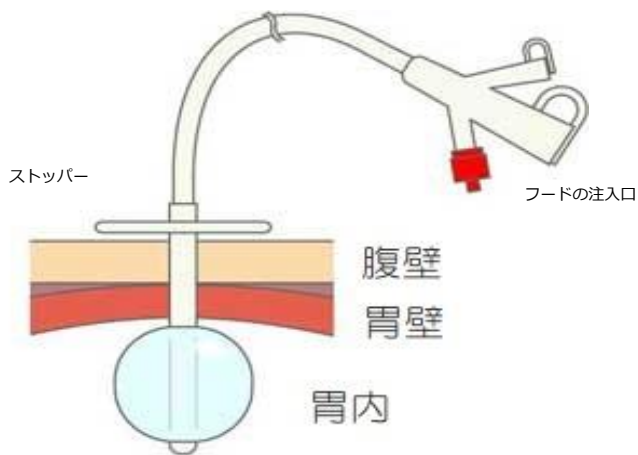


▲頸チューブで給餌している様子

【胃瘻チューブ】

●使用するチューブ

外径：約5～7mm



●メリット●

かなり太いチューブを設置することが可能なので流動食をあげることが出来ます。適量を入れてあげれば多くの場合、嘔吐はかなり少なく済みます。長期的に設置可能です。

○デメリット○

設置に全身麻酔が必要で、内視鏡が必要です。チューブ挿入部位の感染、炎症、疼痛のリスクを伴います。必要なくなってもその場ですぐに抜去することは出来ません。

★適応フード

ペースト状



▲術後服エリザベスウェア (R)

チューブを通す穴が空いていて、ポケットにチューブを丸めて収納できる胃瘻用の服も販売されています♪

【チューブ栄養で使うごはんの種類】

それぞれの食事に合わせたフード（液状・粉末状・ペースト状）が販売されています。

①液状：便利、賞味期限短く高コスト



クリティカルリキッド
(ロイヤルカナンジャパン合同会社)

②粉末状：水に溶くタイプ



チューブ・ダイエット
(森乳サンワールド)

③ペースト状



退院サポート
(ロイヤルカナンジャパン合同会社)

【1日のごはんの量を計算してみようっ♪】

ごはんを始めるときのエネルギー量の目安として、 RER (安静時エネルギー要求量)を用いることが広く勧められています。

RER とは、どうぶつが常温環境で安静にしているときの1日に必要なエネルギー要求量のことをいい、食物の消化、吸収および代謝に必要なエネルギーやそれまでの活動から回復するのに必要なエネルギーなどが含まれます。

RER （安静時における1日に必要なカロリー）は以下の計算式で求められます。

$$RER = (\text{体重kg})^{0.75} \times 70$$

上記の計算は、電卓を使って以下のように求めることもできます。

$$RER = \text{体重} \times \text{体重} \times \text{体重} = \sqrt{\sqrt{}} \times 70$$

1日に必要なカロリーが計算できたら、フードの量を求めます。

フードのラベル（表示）には「代謝エネルギー〇〇kcal/100g」と表示されています。

これらを用いて、以下の計算でフードの量を求められます。

1日あたりのフードの量＝

$$RER \div 100\text{gあたりのカロリー数} \times 100$$

1日あたりのフード量を、与える回数分で割れば、1回あたりのフード量が求められます。
動物の状態に応じて極少量から始めるケースもあるので、獣医師の指示に従ってください。

Let's try!!

例：2.2kgの子に経鼻カテーテルにて給餌

$$RER = 2.2 \times 2.2 \times 2.2 = \sqrt{\sqrt{}} \times 70 = 126.4 \dots$$

1日に必要なカロリーは約126kcal

給餌にはクリティカルリキッドを利用

代謝エネルギー（105kcal/100mL）

$$1\text{日のフードの量} = 126 \div 105 \times 100 = 120\text{ml}$$

1日4回に分けて給餌する

$$1\text{回のフード量} = 120 \div 4 = 30\text{ml}$$

【 給餌方法 】

当院でもよく行われる経鼻・頸チューブを利用した給餌方法についてご紹介します♪

(胃瘻チューブでの給餌方法は多少異なる点があるためご注意ください)

(準 備)

- ・流動食は人肌ぐらいに温めておきましょう
- ・給餌をする前に、動物の上体を起こします

(注 意)

キャップの開け閉め、シリンジ（注射器）の取り外しの際は

必ずチューブを180°折り曲げてください

(写真右)



- ①水を入れたシリンジ（注射器）をつなぎ、一度シリンジを引きます。



- ②手を離して目盛りが自然に戻るか確認します。
空気がずっと抜けて目盛りが戻らないときは給餌をやめましょう。





③目盛りが戻ったら少量の水をゆっくり入れます。

このとき、むせることがないか注意して様子を見てください。

ずっと空気が抜ける場合やむせる場合は、チューブが食道ではなく気管内に入ってる可能性がある
あるので給餌をやめて当院へご連絡ください！



④流動食を入れたシリンジ（注射器）に変え、

流動食をゆっくり入れます。

キャップ部分をおさえながら入れてください！

入れる圧で急に抜けてしまうことがあります！

早く入れすぎてしまうと、胃がびっくりして吐いてしまう
恐れがあります。

フードを入れているとき、舌をペロペロし始めたら
気持ち悪いサインです。

舌をペロペロする様子や吐き気があるときは一度給餌をやめて
様子を見て再度ゆっくりあげてください。

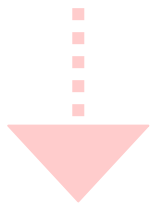


⑤フードを入れ終わったら、水を入れたシリンジ（注射器）に変え

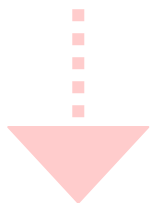
チューブ内に残っている流動食を流します。

チューブの中に流動食が残ってしまうと、腐敗してしまう恐れがありますので、しっかり流し込んでください。





⑥空気を入れたシリンジ（注射器）に変えて、
チューブ内に残っている水を流し込んでください。
チューブ内が綺麗になっているか確認しましょう。



⑦最後はカテーテルのキャップを閉じて、
かじったり引っ張ったりしないようネットに隠してあげてください。



カテーテル栄養はその見た目からかわいそう・・・と思われがちですが、
消化管を通して確実に栄養を摂取できる生理的には自然な方法であり、必要なときには早期に開始することが大切です。
また、ごはんや投薬を嫌がるわんちゃんねこちゃんたちにとってもストレスが少なく確実に薬や栄養を摂取できます！
病気だから食欲がないのは仕方ないではなく、病気だからこそしっかり食事から栄養を摂って体力・免疫力の維持を目指しましょう♪
当院では、チューブを使ってごはんをあげたことがないご家族さまにむけたパンフレットをお渡し、
給餌の練習を一緒に行っています。



▲給餌練習の様子



▲給餌のパンフレット



がんは、その多様性から食事管理ではこれといった一つの方法はありません。

がんによる代謝の変化に応じた食事管理に着眼します。

変化に応じた食事管理のポイントは次のような点です。

『①全身状態と体重の維持 ②がん細胞への栄養供給を減らす ③免疫力の維持』です。

それぞれの項目を詳しく見ていきましょう！

1

全身状態と 体重の維持



がん細胞の種類や増殖の速度により
エネルギー要求量は異なってきます。

できるだけ

適正体重に近い状態で維持できる

のに必要なエネルギーを

食事から供給します。

●現在のBCSが適正の場合

$RER \times 1.0 \sim 1.4$

●現在肥満である

急激な減量を避けながら、適正体重に減量

●現在のBCSが低い

適正体重になるようにDERを設定

1日当たりのエネルギー要求量（DER）

動物の活動状態、ライフステージ、環境などに応じた1
日に必要なエネルギー量のことを言います。

DERの計算方法には、先程のRERを用います。

RER×活動係数 kcal/日

この活動係数は、ライフステージなどによって
それぞれ異なります。

安静時エネルギー要求量（RER）

健康な動物が中程度の気温環境で、摂食はしているものの非活動状態
（静止状態）にある時のエネルギー要求量のことを言います。

消化・吸収、代謝、運動からの回復に必要なエネルギーを含みます。

RERの計算方法には主に2つあります。

30×体重（kg）+ 70 kcal/日

70×（体重kg）^{0.75} kcal/日

電卓で計算する場合、「 $体重 \times 体重 \times 体重 = \sqrt{\quad} \times 70$ 」で
計算してみてください。

② がん細胞への 栄養供給を減らす

高脂肪
高タンパク
低炭水化物



がん細胞は単糖（グルコース）をエネルギー源として増殖することがわかっております。

そのため、食事においては炭水化物の含有量が低くなっています。

一方で身体の維持のために必要なタンパク質を増やしてあげることで、がん細胞にとられる栄養素を補い筋肉量の維持を助けてあげます。

同時にエネルギーを効率よく供給できるよう、脂肪の含有量を多くした栄養構成で体重の低下を防ぎましょう。

がんだけでなく腎臓病や、肝臓病、その他の疾患を併発している場合は、上記の栄養構成はがんを発症した全ての子に有効なわけではありません。

この場合は、その子の病態を悪化させない栄養構成の食事を選択し、体重の減少を防いであげてください。



③ 免疫力の維持

アルギニン
グルタミン
n-3系脂肪酸



上記栄養素は免疫力の維持をサポートします。

グルタミンは腸管の正常化にも役立ちます。

アルギニン及びn-3系脂肪酸は、犬のリンパ腫で炭水化物の代謝異常が改善されるのが期待できます。

がんは多様であるため、今まで記述してきた内容の食事が
全てのがんに対応しているわけではありません。

現在与えている食事で、体重や食欲、全身状態が維持できているのであれば
急に変更する必要はありません。

体調不良のときの食事変更は、食欲低下の原因となり得るからです。

食事の変更をしない場合は、おやつやサプリメントなどを見直し、
必要に応じて変更、調整を行ないましょう。



○がんの食事選択の目安

現在の体調 / 併発疾患	選択のポイント
軽度の嘔吐、下痢	総合栄養食、消化器用療法食、アレルギー用療法
十分量の食事摂取が難しい	高栄養食
低体重	高栄養食、がん対応療法食
適正体重	総合栄養食
肥満	高タンパク食、低脂肪食
肝臓病	肝臓用、消化器用療法食
腎臓病	腎臓用療法食
心臓病	心臓用療法食



○ その他のポイント

①

セミモイストフード、 セミモイストトリーツを避ける

セミモイスト系は炭水化物源として単糖が多く、
保存料などの添加物もドライやウェットと比較しても多くなります。
そのため、総合栄養食であっても、がんの子の主食として使用するのは
避けましょう。

②

低品質な総合栄養食は避ける

総合栄養食でも、低品質な総合栄養食は『高炭水化物、低タンパク質、中程度の脂肪』
といった栄養構成が一般的です。
この食事からは、がんと戦うために必要なタンパク質が十分に得られません。
高品質な総合栄養食または併発疾患に対応した療法食を選択しましょう。



③ 高脂肪への食事移行は時間をかけよう

高脂肪食は十分なエネルギーの供給においては有益ですが消化に時間がかかります。

がんにより代謝異常や消化機能に異常がある場合は、急激な高脂肪食への移行は下痢を生じます。

一回の脂肪代謝に掛かる負担を軽減するために少量頻回で供与すると共に動物の身体に対応した移行期間を設定しましょう。

④ 化学療法、放射線治療中の抗酸化サプリメントの添加は避けましょう

抗がん治療は免疫機能の抑制が目的です。

一方で抗酸化サプリメントは活性酵素を除去し、免疫力を活性化させることが目的です。

そのため、化学療法および放射線治療中の抗酸化サプリメントの使用は避けましょう。

がんの予防、再発防止の為の添加は有益です。



美しく健康で 長生きするために

絆プロジェクトとは

“動物が健康で美しく長生きするためにできること”をテーマに、動物とご家族が楽しく快適に過ごせますように、獣医師、動物看護師、トリマー、受付、コンシェルジュそれぞれの立場からご家族向けのセミナーや、動物と暮らすことの幸せを改めて感じてもらえるようなイベントを開催していくプロジェクトです。

動物病院は病気やケガを治すためだけでなく、健康であり続けるためのお手伝いする存在でもあります。多くの方にとって動物病院に足を運ぶのが楽しいと思っていただけますと幸いです。

皆さまがどのような悩みを持たれているか、また同じ悩みを持つご家族さま同士が悩みを解決するためにコミュニケーションを取れるような場を作りたいと考えております。

我が家の動物との“家族の絆”
エピソードをお聞かせ下さい。

健康を維持するために、日頃から気を付けていることや、お悩みやお困りごとなどのお声をこちらのメールまでお送り下さい。

皆さまの多くのお声を元に、イベントやセミナーを企画して参ります。

kizuna@jamc.co.jp

～ 絆プロジェクト 第11回 活動報告 ～

JAMC夏休み企画

「トリマーさんのお仕事を 見てみよう」

トリマー

の お仕事紹介

絆＊夏休み企画



「トリマーさんってどういう仕事？」

「犬や猫に触れて楽しそう！」

子ども達にとってはトリミングサロンでのお仕事はどのようなイメージですか？

去年は『目指せ！獣医さん』という体験型イベントを行いました、
今年はコロナ禍ということもあり、ウェブ上でのお仕事紹介イベントを行いました。

そこで今年は『トリマーのお仕事』です。犬や猫を飼っていてトリミングから帰ってくると、
「見違えるほど可愛い！」「いい香り！」とお子さんもととても嬉しい気持ちになることと思います。

お子さまから、トリマーへの質問をお受けし、お答えしています！

どのようにお仕事をしているか、写真や動画を用いて紹介していますので、ぜひご覧になって下さい。



←トリマーさんのお仕事を
見てみよう
特設ページはこちら

JAMC防災イベント

「もしもの災害、正しいストック」

9月1日の防災の日開催

もしもの災害/正しいストック= ローリングストック

特設ページはこちら ↓



今後発生するかもしれない災害への対策はできていますか？

今年は新型コロナウイルスの感染拡大による不安から、
様々な日用品がスーパーの棚から無くなり、
欲しいものが欲しい時に手に入らなくなりました。
あの時買っておけばよかったと思った方も多かったと思います。

災害が起きてしまったら、すぐに動物病院でお薬が手に入るとは
限りません。

お薬を切らしてしまうと命に係わる場合もあります。

今のうちから、正しいストック=備え を行っていきましょう。



マイクロチップの読み込みキャンペーンも行いました。

震災の際、迷子の個体でマイクロチップが入っている子は
飼い主様にほぼ100%再会できましたが、
入っていない子は数%だったというデータがあります。

ご家族様とマイクロチップについてお話させて頂く機会が増え、
中には実際に読み取ってみて、ご家族情報の登録ができていなかった、
ペットショップでの情報が更新されていなかったというお声がありました。
登録がされていないと照会もできません。



定期的にマイクロチップが機能しているかをチェックし、
今一度、登録ができているかを確認しましょう。
マイクロチップのナンバーを読み取りたいという方は
スタッフまでお声掛け下さい。



JAMCいぬチームイベント

「わんわんパラダイス写真展」

5月開催



DFCとはドッグフレンドリークリニックの略で

私たちDFCチームは病院にいらっしゃるわんちゃんにとって

ご家族様にとって快適で安心できる環境作りや病院作りを目指して活動するチームです。

以前まで犬チームとしてシニアに特化して活動しておりましたが

幅を広げて活動していくこととなり、

今回わんわんパラダイスという写真展を初めて開催しました。

かわいらしく愛にあふれたお写真ばかりで病院では見られない

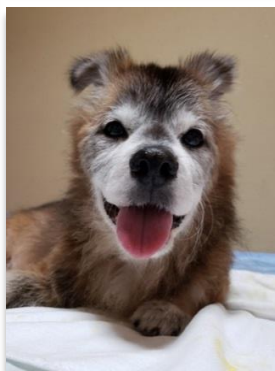
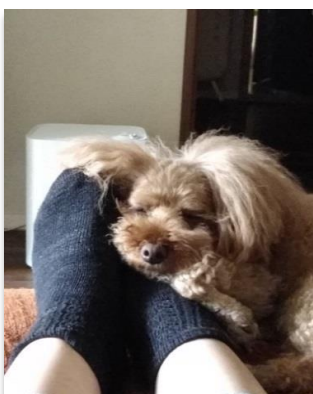
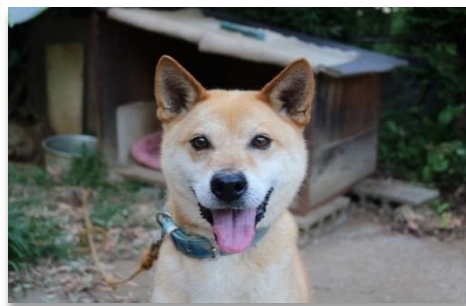
貴重な姿を見ることができとても嬉しく思います。

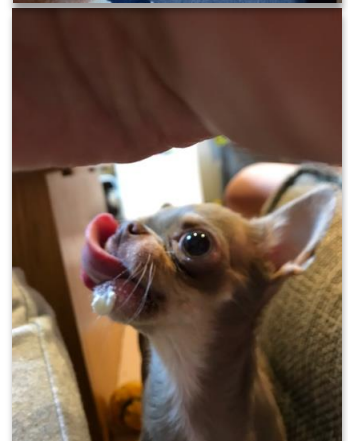
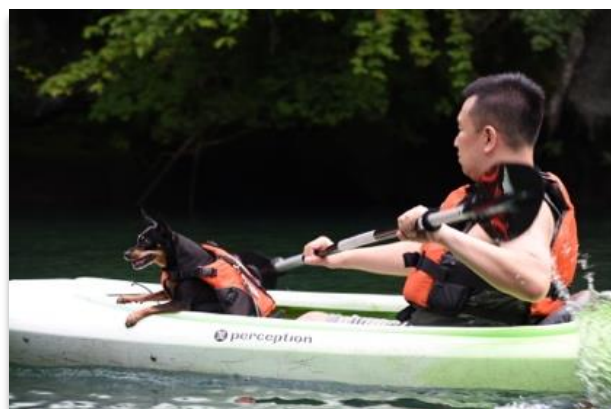
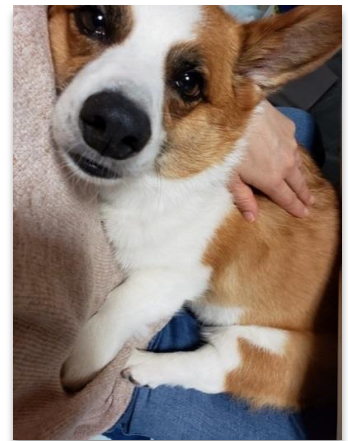
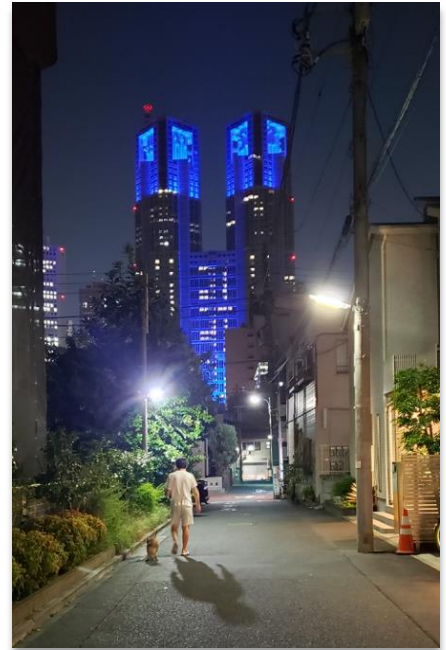
素敵なたくさんのお写真ありがとうございました (*^^*)

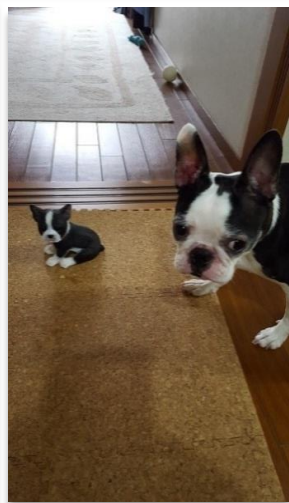


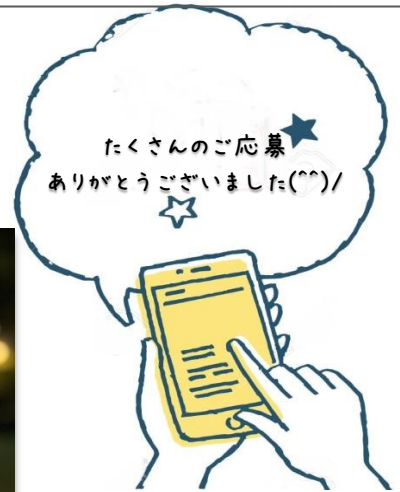
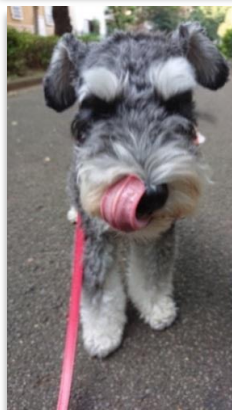
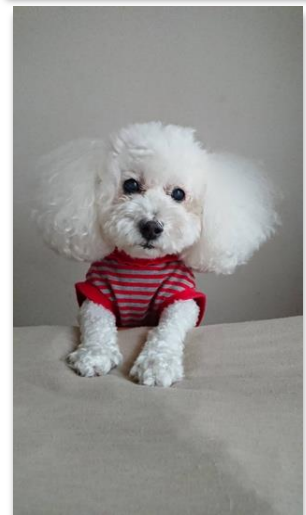
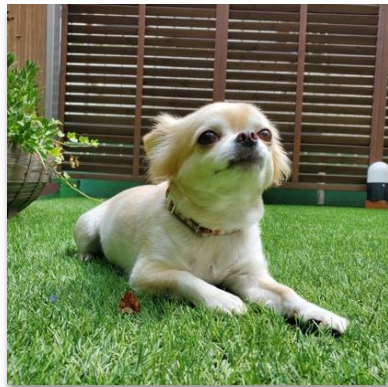
←わんわんパラダイス写真展
特設ページはこちら

わんわんパラダイス写真展
応募写真大集合!!!









2021年度JAMC主催

『駅構内看板用 フォトコンテスト』

この度、新宿・初台・幡ヶ谷のホーム看板の意匠変更に伴い
写真を公募させていただきます☆
わが子のとびきりのベストショットを看板に！！
皆さまの参加をお待ちしております(#^.^#)



新宿駅ホーム看板



【概要】 ご家族との絆、動物同士の絆などふれあいの写真を募集いたします。

【締切】 2021年2月28日(日)

【募集内容】

- ※対象動物：犬・猫・うさぎ・フェレット・ハムスター
- ※未加工のもの
- ※動物一個体に付き、一枚まで応募可。
(できる限り皆様から頂いた多くの写真を掲載したい為、ご了承ください)
- ※人物と一緒にの写真でも可
(その際は被写体の肖像権、他者の権利を含む著作権を使用する場合は、必ず利権者の承諾を得てください)

【その他ご案内】

- ※公募写真は本件への掲載のみに使用し、
他の目的には使用いたしません
- ※ご家族様名が公開されることはございません。
- ※動物名のみ写真と共に掲載させていただきます。

【応募方法】

○下記QRコードを使用して応募する場合

メール本文に必要な事項を入力し、
作品を添付して送信して下さい。



○メールアドレスを入力して応募する場合

smile@jamc.co.jp

件名『駅構内看板用フォトコンテスト』と明記

メール本文に下記項目をご入力し、作品を添付して送信して下さい。

ご家族様名：

動物名：

【主催】

日本動物医療センター 〒151-0071 東京都渋谷区本町6-22-3

【問い合わせ先】

日本動物医療センター tel：03-3378-3366 「JAMCホーム看板用写真募集」係 担当：小池



発行 | 株式会社 日本動物医療センター

発行所 | 〒151-0071 東京都渋谷区本町6-22-3

編集長 | 小池百恵

編集・構成 | 竹田祐子 梶優子 三品琴音 相澤菜野 諏方萌 クラナミ見子 杉浦慧斗

診療時間のご案内

受付		9:00-13:00	14:00-16:00	16:00-20:00
	通常診療	○	/	○
	予約診療	○	○	○
水曜日は午前診療のみ				
入院中の面会・相談・容態の問い合わせ14:00 - 17:00				

- 救急診療 24時間受付しております

救急診療のご案内



24時間365日夜間救急対応！

まずは **03-3378-3366** までお電話を！

当院では、常に獣医師と看護師が常勤しており、夜間の緊急時の診療も対応しています。

また、必要に応じて緊急手術や手術後の入院の受け入れも行っています。

- 来院時に迅速な対応ができるよう、お電話で症状をお知らせください。

(飼い主様と動物のお名前、動物種、年齢、性別、来院時間も併せてお聞かせください。)

- お問い合わせが集中しているときなど電話がつながりにくい場合があります。

お手数ですが、しばらくたってからおかけ直してください。

- 緊急性や重症度の高い動物の対応を優先していますので、状態に応じて順番が前後してしまうことや待ち時間が長時間になることもありますのでご了承ください。

- 緊急時にはお預かりして、救命処置を進めさせていただくことがございます。



来院時に必要なもの



お支払に関して

各種クレジットカードまたは現金でのお支払対応も可能です。時間帯により、別途時間外料金が発生します。



動物健康保険に加入の場合

夜間診療時は、保険窓口清算対応しておりません。

飼い主様ご自身でのお手続きをお願いいたします。

当院へのアクセス

電車：京王新線『幡ヶ谷』北口をでて徒歩 8 分

バス：京王バス45番【新宿西口～中野駅】乗車

『本町一丁目』下車

車：首都高速4号新宿線 『初台』もしくは『幡ヶ谷』出口

